

画家は、森をぬけ、丘にのぼり
町並みや通り、店や家のようすを見て歩き
先々で町の人と話し
そして、ここに住むことに決めました。

画家は、町へやってきた日から
「キャプテン（船長）」と呼ばれていました。
少し白髪^{しろ}の交じった頭には、金刺繡^{しゅう}が入った船長帽。
洗いざらしの紺色のジャケットに横縞^{じま}のシャツ。
そして、一服するときには
鈍く光るブライヤのパイプをくわえたからです。